

### 日本共産党

負担を回り運営することを求めるがどうか。

副技監 クロスセクター・ベネフィットの視点は重要であり、現在は公共交通機関を維持するための公費負担は行っていないが、関係部局と連携し、総合的な視点で施策に取り組んでいく。

問 生産緑地地区を引き続き

き保全するため部局横断的な検討機関を設置するべきだがどうか。

副技監 関連部局と連携し保全に努める。

問 子ども食堂について

問 コロナ禍で、食の提供が難しい状況ではフードバンクのような活動も補助対象にすべきだがどうか。

子どもすこやか部長 各団体へ随時聞き取りを行い実情を把握する。

### 東大阪政心会

個人質問 鳴戸 鉄哉

**市内中小企業や小規模企業の役割をどのように認識しているのか見解を問う！**

温室効果ガスの削減について

問 先日上院議員を引退された、世界一貧しい質素な大統領と言われたウルグアイのムヒラ前大統領の言葉「これまでのライフスタイルを変えよう、世界を変えられるわけではありませんが、あなた自身は変わることができるんですよ」という言葉がある。地球温暖化、気候変動の中、人々はどう生きるか、その国のリ

ダーはどうあるべきかを実践から学ぶことができる。ムヒラ前大統領の言葉による、あなた自身は変わることができるを受けて、例えば地球温暖化問題を踏まえ、これまでのライフスタイルを変えた職員の取り組みや内容を庁内で紹介する、すばらしい取り組みをした職員を表彰することかできないかと思うがどうか。

### 新社会党

個人質問 松平 要

**本市高等教育の拠点、日新高校の充実に向けた施策展開を！**

日新高校と地元密着型人材育成について

問 現在の地に移転してから、すでに半世紀近くの歴史を刻んでおり、本市が誇る高等教育の拠点であるが、来年度から定時制がなくな

る。例えば、本市職員採用にあたり日新高校卒業生枠を設けることはできないか。これは単なる優遇措置ではなく、本市の特色を学びながら、各分野で本市の将来を担う地元密着型人材育成に寄与するのではないかと、思うが教育委員会の見解を伺う。

教育次長 早い時期から本市の産業に興味を持ち、自

### 照隅の会

個人質問 中西 進泰

**アリーナを中心としたスポーツのまちづくりについて市の見解を問う！**

スポーツのまちづくり

問 国はスポーツを地域創生の大きな柱と位置づけ、スタジアム・アリーナを核としたまちづくりの考え方を取り入れた多機能型施設

の建設を推奨している。スタジアム・アリーナはスポーツの試合だけでなく、様々なイベントを開催することができ、ショッピング、医療等の施設を併設することでスポーツを起点とした新しい産業価値を創造することができ、また、災害が発生したときの防災施設としての役割を果たすこともでき、まちの中核施設として地域内外から人が集まる交流拠点となるが、スタジアム・アリーナを中心としたまちづくりについての市の見解を問う。

都市魅力産業スポーツ部長 スタジアム・アリーナは、

### 自由民主党

代表質問 岡 修一郎

**絶対条件！PCR検査体制を強化せよ！**

**目指せ100%再生可能エネルギー！率先行動を示せ！**

PCR検査体制の整備

問 体調がおかしいと感じたら、速やかにPCR検査を受けられることが、最も安心を供給できる前提である。自由民主党東大阪議員団は野田市長に対し、10月21日に、PCR検査拡充を求める要望を行った。東大阪市の11月末日までのPCR検査数は累計で1万5099件、隣の大阪市は9万9444件、堺市は3万996件、総感染者数は大阪府は1万461人、堺市は1286人、そして本市は1110人となっている。一人でも多くの方にPCR検査を受けていただく体制

整備は絶対条件となる。本市のPCR検査体制の現状今後の体制整備の考え方や健康部長 発熱などの症状のある市民の方には、保健所がPCR検査の受診調整を行う方法に加え、保健所を介せず、かかりつけ医に相談することで、相談、診療、検査ができる体制を整えてきた。今後この医療機関を増やし、市民が速やかに検査が受検できるように体制整備に努めていく。

再生可能エネルギーの活用

問 再生可能エネルギーは温室効果ガスを発生させず、

公用車を全て電気自動車に / (市役所地下1階)



またエネルギー自給率の改善にも寄与することができ、我が国は2050年カーボンニュートラルを表明し、またそれに先駆けて、

希望のあった企業に訪問相談も実施し、コロナの影響や二一ス把握に努めている。独自支援については、早期に国の新たな経済対策の情報収集をし、企業実情に即した支援策の検討を行う。

地球温暖化防止

問 温室効果ガスの排出量削減目標を引き上げ、公共施設や民間住宅への太陽光発電システムの設置を進め

るべきだがどうか。

環境部長 目標については毎年削減状況の検証を行い、数値目標を検討する。

公園整備について

問 パリアフリー化の推進と劣化した公園の遊具やベンチ、トイレなどの改善や更新を求めるがどうか。

土木部長 老朽化した公園施設は多数あり、予算の拡充と対応について関係部局と調整し、検討する。

少人数学級の実現

問 文科省も三十人学級の検討を始めた。子どもたちの命と健康を守ることも実現を具体化する時である。三十人学級実現には、全体でどれだけの学級数の改善と教員の採用が必要か。学校教育部長 約二百学級程度増加が試算され、それに伴う所要の教員の追加配置が必要となる。

市の将来を描いていけるような取り組みを進めていくとともに、将来の地域社会で活躍できる人材を育てていく必要があると考えている。

中小企業、小規模企業について

問 私は中小企業、小規模企業には次のような役割があると考えている。独立開業機会や雇用の場を提供する役割、最適規模で効率的

コンテナツホールダー次第では数千人以上の規模で人々を集めることができる施設となり、交通、飲食、宿泊、観光につながり、経済効果や雇用創出が期待される。建築物としても、周辺地域のまちづくりに寄与することが期待される。

一般介護予防事業の拡充について

問 平成二十六年の介護保

本市においてもゼロカーボンシティを表明している。私は、市民に訴えかけるためには、まずは行政が率先して行動を示すことが非常に重要かつ効果的であると考える。現在本市は2050年に温室効果ガスの実質ゼロを掲げているが、本市の率先行動として、市庁舎の使用電力を100%再生可能エネルギーにすることを目指すべきである。また、公用車を全て電気自動車にすることで、排気ガスを出さない上に、災害時に電源車として活用できるが、導入を目指すべきではないか。

の中で一般介護予防事業の地域介護予防活動支援事業として取り組み、市民が利用しやすいよう、自治会単位程度の約三百箇所で集いの場をつくることを目標にすべきだと考えているが、福祉部長 現状の通いの場の実態把握をすることが必要であり、まずはそのことに取り組み、その上で必要な施策を検討していく。

が指摘されている。人口減少を食い止め、納税世帯を誘致するのが今後の大きな課題である。現在、旧バス停に占める駅前的大部分が閉鎖されている現状があり、景観が悪いため、早く何とかしてほしいとの声は日々強まっている。瓢箪山駅前バス停跡地の活用についての計画と進捗を答えて、土木部長 要望箇所については、一般河川御神田川の河川敷を活用する形となることから、大阪府に対して、河川占用を含めた協議を進めている。また、道路交通管理者である大阪府警本部と協議をしており、最終的な利用形態と暫定的な利用形態の協議を進めている。

姉妹都市との交流

問 姉妹都市のカリフォルニア州グレンデール市では、

(次頁につづく)